

# 分電盤は電気の見張り番!

私たちの快適な暮らしを支えてくれる電気。家庭に送られてきた電気は、分電盤をとって各部屋に届けられます。分電盤には、アンペアブレーカーや漏電遮断器(漏電ブレーカー)、配線用遮断器(安全ブレーカー)が取り付けられており、電気的安全をしっかりガードしています。万一の場合にそなえて分電盤がどこにあるのか、確かめておきましょう。

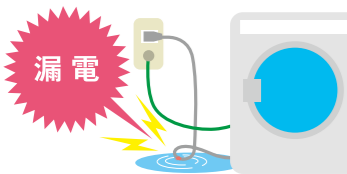
## アンペアブレーカー

電力会社との契約用ブレーカーで、契約アンペア以上の電気が流れると自動的に電気が止まるしくみになっています。



## 漏電遮断器(漏電ブレーカー)

感電や火災の原因となる漏電をすばやくキャッチし、自動的に電気を止め、電気事故を未然に防ぎます。漏電遮断器には、正しく作動するかチェックできるテストボタン(灰色または赤色)がついています。長期間使用していると、使用環境などにより漏電遮断器が正しく作動しなくなることもありますので、ご家庭で定期的に確認するようにしましょう。テストボタンを押しても作動しない場合は、お近くの電気工事店へご相談ください。なお、取り替えの目安は15年程度です。また単相3線式の配線には、「**中性線欠相保護機能付き漏電遮断器**」をおすすめします。



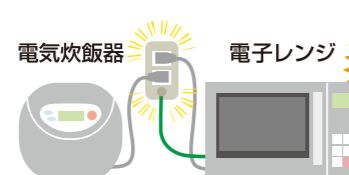
漏電している電気機器があると漏電遮断器が作動して、電気を止めます。

### ▶「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」とは?

多くのご家庭で使用されている単相3線式配線では、中性線(真ん中の白い電線)の接触が悪くなると電圧が不安定になり、通電中の電気機器が故障することがあります。これはごく稀に漏電遮断器の端子部分のゆるみなどが原因で起こるもので、中性線欠相保護機能付き漏電遮断器は、このようなときに、いち早く電気を遮断することができます。

## 配線用遮断器(安全ブレーカー)

電気の行き先(回路)ごとに、**配線用遮断器**がついており、配線が過熱するのを防ぐため、決められた容量を超える電気が流れると自動的に電気を止めます。たとえば、容量が20A(アンペア)の場合、コードがショート(短絡)したり、電気機器の使いすぎで20A(2,000W)を超える電気が流れると、その回路の遮断器が作動して電気を止めます。エアコン、電子レンジ、衣類乾燥機などの**電気を多く使う機器は、専用回路**にすることをおすすめします。



10A(1,000W) + 12A(1,200W) = 22A(2,200W)

### ▶コード短絡保護機能を有する配線用遮断器

電気機器を使用していなくても、差し込みプラグがコンセントに差し込まれて電圧がかかれば、ショートが発生するおそれがないとは限りません。コード短絡保護機能を有する配線用遮断器は、初期段階のショートを検知して瞬時に電気を止めることができるので、大きな効果があります。

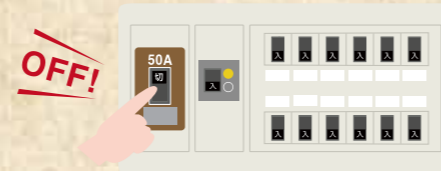
# 災害にそなえて…

災害はある日突然やってきます。普段から災害時の備えや心がまえをしておけば、いざというときにも慌てずに済みます。

## アツ地震! グラツきたときは

**スイッチを切って、プラグを抜いて**  
地震のときは火事に注意。アイロン、ドライヤー、ストーブなどの熱を出す機器を使っているときは、プラグをコンセントから抜きましょう。

**避難するときは、アンペアブレーカーを切って**  
地震で停電になっても、電力会社の設備に異常がなければ、再び電気は送られてきます。自宅を離れ避難するときは、電気の消し忘れなどによる事故(通電火災)を防ぐために、分電盤のアンペアブレーカーを切ってください。地震がおさまったら電気機器の安全をチェックしましょう。ガス漏れのおそれがあるときには電気を使用しないようにしましょう。

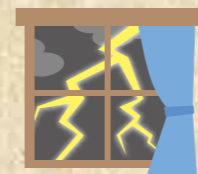


## 日頃の備え

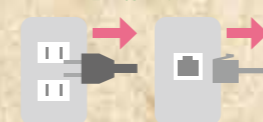
- 日頃から、懐中電灯(手動発電式のものもあります)や携帯ラジオ、防災リュックなどを用意しておきましょう。また、電力会社や電気工事店の連絡先を確認しておきましょう。
- 携帯電話・スマートフォン用**手動発電機**を用意しておくと、イザという時に役立ちます。
- 停電によるパソコンのデータ消失などを防ぐには、**UPS(無停電電源装置)**などの**設置**をおすすめします。

## ピカッ、ゴロゴロ 雷だ!

**プラグを抜いて!**  
落雷による影響で、電気機器が壊れたり、火災が発生することがあります。近くで大きな雷が鳴ったら、プラグはコンセントから抜き、電話線もモジュージャックから抜くようにしましょう。なお、雷に対応した分電盤もあります。分電盤に避雷器が内蔵されているため、電源線、アース線から侵入する雷サージを防ぎ、家庭の電気機器を守ってくれます。



雷が鳴ったらプラグ、電話線を抜きましょう



## 台風・暴風雨にそなえて!

### 屋外照明器具などをチェック

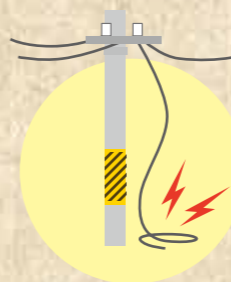
屋外に設置されている照明器具やアンテナなどが暴風雨に耐えられるか確かめましょう。また台風による浸水などで屋内配線や電気機器が水にぬれてしまった場合は、使用前に必ず電気工事店、または電力会社などにご相談ください。



## 切れた電線には絶対にさわらないで!

### 電力会社へすぐご連絡を

たれ下がった電線にさわると感電するおそれがあります。切れた電線には絶対にさわらないでください。また、樹木や看板、アンテナなどに電線がふれている場合も危険です。見つけたときには近づかないで、すぐ、お近くの電力会社にご連絡ください。



# 電気を上手に安全に使っていますか?

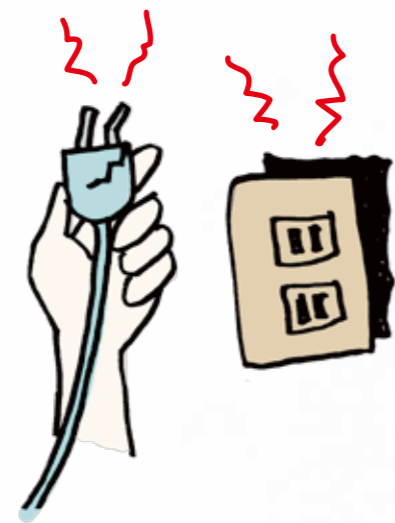
快適ライフのための安全心得

# 目頃から 身のまわりの電気の安全を 心がけましょう。

## その一

傷んだプラグやコンセント、コードを使っていませんか？

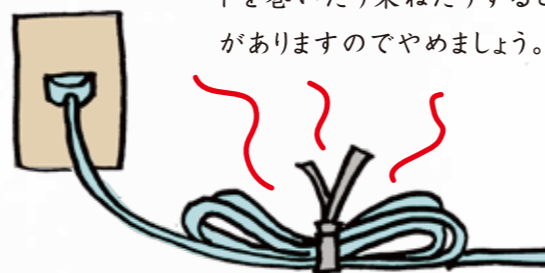
家具の下敷きになっていたりひっばったりするとプラグやコンセント、コードは傷みます。感電やショートの原因となるので、傷んだプラグやコンセント、コードは取り換えましょう。



## その二

コードをとめたり束ねたりして使っていませんか？

くぎやステーブルでとめると、コードが傷んで断線や過熱の原因になります。また、コードを巻いたり束ねたりすると過熱のおそれがありますのでやめましょう。



## その四

プラグはコンセントにしっかりと差し込んでいますか？

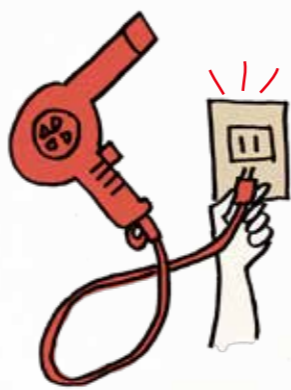
プラグがゆるんでいると過熱するおそれがあり危険です。プラグはしっかりと差し込みましょう。



## その三

ドライヤーなどを使ったあと、すぐにプラグを抜いていますか？

ドライヤーやアイロンなど熱を発生する電気器具は、スイッチを切り忘れると火災の原因になるおそれがあります。使ったあと必ずプラグを抜く習慣をつけましょう。



## その五

ときどきプラグを掃除していますか？

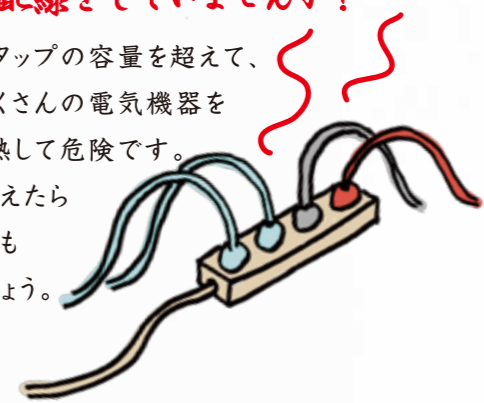
長期間プラグを差し込んだままにしておくとトラッキング現象(下の解説を参照)が起こり、火災の原因になることがあります。プラグはときどき乾いた布などで掃除しましょう。



## その六

たこ足配線をしていませんか？

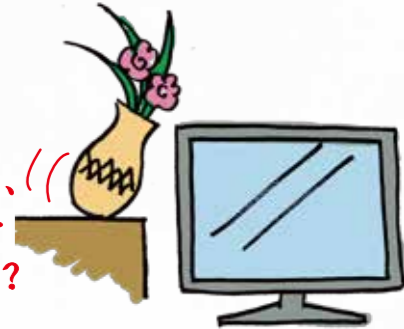
テーブルタップの容量を超えて、一度にたくさんの電気機器を使うと過熱して危険です。機器が増えたらコンセントも増やしましょう。



## その八

電気機器のそばに、花瓶や水槽などを置いていませんか？

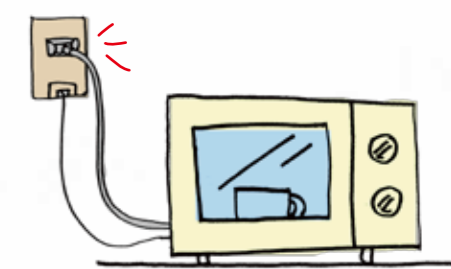
倒れて電気機器に水がかかると、漏電や火災などの原因となる場合があります。危険です。万が一、水がかかった場合は、使用前に電気工事店や販売店などにご相談ください。



## その九

アース線を取り付けていますか？

洗濯機や電子レンジ、冷蔵庫などのアース線を、専用の接地端子に取り付けましょう。アース線は漏電した電気を大地に逃がし、感電などの危険を未然に防ぎます。



## 電気の豆知識

～安心、便利な器具のご紹介～

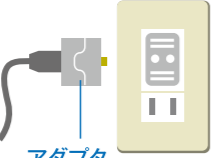
### 扉付きコンセント

コンセントにプラグ以外の物を差し込んだりすると、とても危険です。小さなお子さまのいるご家庭では、異物が入らないつくりになっている扉付きコンセントをおすすめします。また、冷蔵庫やパソコンなどにはプラグを差し込んでひねると抜けない、抜け止めコンセントが便利です。



### マグネットコンセント

小さなお子さまやお年寄りのいるご家庭では、マグネットコンセントをおすすめします。コードに足がひっかかっても、プラグが簡単に外れるので安心です。一般のプラグをアダプタに差し込むことにより使用でき、上下左右へコードをひっぱるとコードがはずれやすく、まっすぐにひっぱると抜けにくいしくみになっています。



### 雷サージ保護機能付き テーブルタップ

雷サージ現象とは、雷が落ちるときの瞬間的に屋外の電線などに高電圧が発生し、建物内に入り込む現象です。高電圧により電化製品等を損傷する場合がありますので、保護機能が付いた機器を使うとより安全性が高まります。



### 停電のときも安心、保安灯

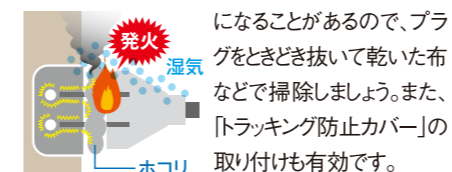
停電による暗闇は危険です。保安灯をコンセントに差し込んでおくと、停電のときは自動的に点灯します。ふだんは常夜灯として利用できるものや、コンセントからはずすと懐中電灯に使えるものもあります。



## 定期的な点検を実施しましょう

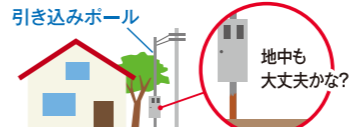
### トラッキング現象とは

「トラッキング現象」とは、長期間プラグを差し込んだままにしておいたために、プラグとコンセントの間にたまったホコリが湿気を帯び、プラグの刃の間にわずかな放電が繰り返し起きることが発端となり、プラグが突然発火する現象です。火災の原因になることがあるので、プラグをときどき抜いて乾いた布などで掃除しましょう。また、「トラッキング防止カバー」の取り付けも有効です。



### 引込ボールの根元がさびていませんか？

引込ボールの根元が盛土などで覆われていると、錆びが進行し倒壊のおそれがあります。定期的に根元の点検をして頂き、異常に気づいた場合は、電気工事店などに相談して処理をお願いします。

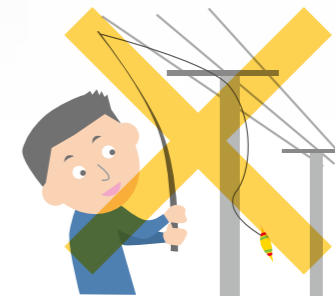


## アウトドアでの豆知識

電線の近くでたこあげやラジコン飛行機で遊ばないようにしましょう。

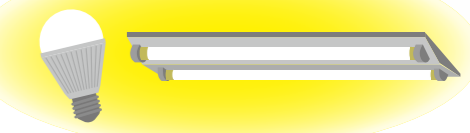


※万一、電線などにひっかかった場合は必ずお近くの電力会社に連絡をお願いします。



釣りざおが電線に近づくと感電する危険があるので注意しましょう。

## LEDランプ 使用上のご注意



省エネ、長寿命なLEDランプへの切り替えが増加しています。しかし、取付け方法を間違えて使用すると、火災などの思わぬ事故の原因となる可能性があります。照明器具の種類等を販売店や電気工事店で確認し、取替の際は、取扱説明書をよく読んでください。